

Thank you!

これからも「ソルウェイズ」は、
子どもたちとそのご家族に寄り添い、共に歩んでまいります。

ソルウェイズホームページはこちら

最新情報・採用情報・寄付のご相談はホームページまで。



Facebook



Instagram



X



note



メルマガ



本年度報告書の制作・印刷・発送には、
公益財団法人洲崎福祉財団からの助成を活用しています。
ソルウェイズの一年の歩みと、
子どもたちやご家族、地域の皆さまとのつながりを、
こうしてお届けできることに
心より感謝申し上げます。

2025年度 年次報告書

発行者 NPO法人ソルウェイズ
デザイン pipi design 鈴木あさ美



NPO法人ソルウェイズ

法人本部

札幌市中央区北10条西19丁目1-1

事務局

札幌市北区新琴似9条5丁目3-6-202

☎ 011-839-1844

✉ mail@solways.or.jp

NPO法人ソルウェイズ 年次報告書

Annual Report 2025

想いが重なり、
地域になる。
これが、あいのカタチ



Message

代表あいさつ

代表理事 運上 佳江



2025年度を振り返り

2025年度の活動報告にあたり、皆さまに心からの感謝を込めてご挨拶申し上げます。

2025年度は、私たちソルウェイズにとって、また一つ大きな夢が「カタチ」になった、非常に感慨深い1年となりました。

2025年5月5日こどもの日に、北海道石狩市に「こども未来支援拠点 あいのカタチ」を開所できたことです。

重い障がいや医療的ケアのあるこどもたちが地域の真ん中で、みんなから愛されその子らしく生きることができる場所を作りたい――。

その強い想いが、地域の皆さま、行政、そして福祉・医療の関係各所の多大なるご協力のおかげで、ついに実を結びました。この場をお借りして、開所に向けて走ってくださったすべての皆さまに、深く御礼申し上げます。

この1年を振り返り、私は改めて、ソルウェイズがどれほど多くの「愛」それは、寄付をいただいている皆さま、事業を利用してくださる家族の皆さま、そして利用児者のこどもたちであり、皆さまに支えられているかを実感しています。

ソルウェイズの掲げる法人理念に向かって、2026年度もスタッフ一同、さらに歩を進めてまいります。

こどもたちの未来は、地域の未来、そして私たちの社会の未来そのものです。

これからもソルウェイズは、こどもたちとそのご家族に寄り添い、共に歩んでまいります。今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ソルウェイズ
代表理事

運上 佳江

団体概要

「その子らしく生きる」を、地域の日常に。

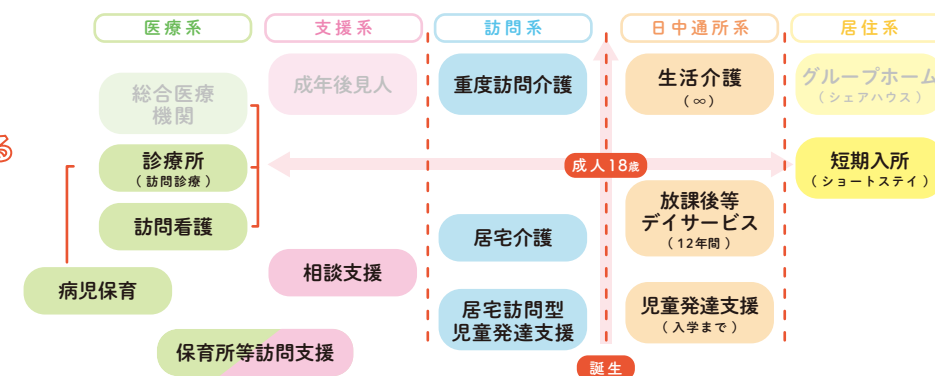
ソルウェイズは、重い障がいや医療的ケアがあっても、こどもたちが生まれ育った地域で「その子らしく生きる」ことのできる社会を目指し、2017年に設立しました。重症児デイサービスから始まった活動は、訪問看護、居宅介護、相談支援、生活介護へと広がり、2025年には「こども未来支援拠点 あいのカタチ」を開所。小児科クリニック、病児保育、医療型ショートステイが加わりました。一つひとつの事業を切れ目なくつなぎ、こどもの成長と家族の暮らしを地域全体で支える。札幌市・石狩市で積み重ねた実践を、北海道の新たな支援モデルとして広げていきます。



こどもたちは、私たちの太陽。
こどもたちを、いつも明るく、照らしてあげたい。
こどもたちに、いつもあたたかく接したい。
母親（太陽）のあたたかさで、いつまでも守ってあげたい。
「太陽・希望（Sol）」への「道（Ways）」を作っていきたい。
「Solways」には親が子を思う気持ちが込められています。

重症児等々の 地域生活(小児在宅)を支える 5つのカテゴリーへ

※現在当団体が運営しているのは
白抜き以外のところになります。



事業所一覧

2025年 OPEN /



こども未来支援拠点 あいのカタチ



重症児デイサービス ソルキッズ 居宅訪問型児童発達支援 医療的ケア児者相談ステーション バンビ みらいく 札幌市中央区北10条西19丁目1-1 ☎ 011-676-4557	多機能型重症児者デイサービス モアナ 札幌市北区新琴似9条5丁目3-16 ☎ 011-299-4433	重症児デイサービス リノキッズ 札幌市南区澄川5条3丁目9-10 ライオンズマンション1階 ☎ 011-374-5772	重症児デイサービス あいキッズ 保育所等訪問支援 シンバ ☎ 0133-62-8103 レスバイトハウス コタン ☎ 0133-72-9000 石狩市花川南2条3丁目9番地 こども未来支援拠点あいのカタチ
重症児デイサービス ラナキッズ 札幌市北区新琴似9条4丁目5-17 ☎ 011-299-3979	居宅介護事業所 (重度訪問介護・移動支援) リマ 札幌市北区新琴似9条5丁目3-6-101 ☎ 011-299-5605	訪問看護ステーション あみえる 札幌市北区新琴似9条5丁目3-6-102 ☎ 011-500-2871	小児科 いしかりこどもクリニック 病児保育室 らいおん ☎ 0133-72-9900 石狩市花川南2条3丁目9番地 こども未来支援拠点あいのカタチ

特集 設立10周年

みなさんと明るく 照らし続けた10年

ソルウェイズは、2027年1月に設立10周年を迎えます。
 たくさんの笑顔と、たくさんのやさしさに支えられてきた10年。
 お子さん、ご家族、地域の皆さん、支援者の皆さん、
 そして一緒に歩んできた仲間たちへ。
 心からの「ありがとう」をお届けします。



2017

法人設立
重症児デイサービス
ソルキッズ開設

2019

多機能型重症児者
デイサービス
モアナ開設

2020

重症児デイサービス リノキッズ 開設
重症児デイサービス あいキッズ合併
居宅介護事業所 リマ 開設
 (2022移動支援、2023重度訪問介護)

2021

訪問看護ステーション あみえる開設
居宅訪問型児童発達支援 パンビ開設
重症児デイサービス ラナキッズ開設

2022

北海道で暮らす医療的ケア児の
未来を拓くプロジェクト
「いけプロ」スタート
 保育所等訪問支援 シンバ開設

2023

医療的ケア児者相談ステーション みらいく開設
 (相談支援)

2025

こども未来支援拠点 あいのカタチ 開設
 ・レスパイトハウスコタン (医療型ショートステイ)
 ・いしかりこどもクリニック (小児科・リハビリテーション科)
 ・病児保育室らいおん (病児保育)

2026

さっぽろこどもホスピス
 推進協議会発足



10年をふりかえる みなさんの声

ご利用者さんのご家族から、たくさんのメッセージをいただきました。

ソルウェイズの活動のおかげで、
医ケア児育児も孤独
じゃないと感じます。

ひろき母

持って帰ってくる制作物や写真、子供に楽しかったか聞くと
笑顔が見られ、少しずつできることやいろんなことに興味を持った
りと成長を感じる場面がたくさんあります。

通った当初から今まで
楽しく通わせていただき
感謝しています！

ひなの父

子供が楽しんでいる顔を見るだけで、
幸せを感じる事ができております。
安心して、楽しんで通える場所でした
ので、親子共にありがたい場所です。

いつも明るい運上さん、ソルウェイズのスタッフの
皆さんの笑顔に元気をもらっています！
重い障害のある息子のことを「かわいい！」と色々
話しかけてくれて嬉しかったです。

言葉が話せなくても一人一人にあうコミュニケーションを大切に活動してくれて学びになります！
これからも応援しています！

T.S

いつも丁寧に寄り添ってくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも医療的ケア児の母として
走り続けられるよう私も頑張ります！
これからも応援しております。

こまめに息子の様子を教えてくれたり、
リハビリなど積極的に促してくれたり、
安心して預けられることに感謝してます。

稜介の母

いつも本当にありがと
うございます！ソルキッズの
おかげで安心して楽しい
日々を過ごしております！

M.N

大変な仕事だとは思いますが、
人の役に立つ仕事なので、
誇りを持って下さい。
いつも感謝しています。

T.K

いつも楽しい活動を経験
させていただき、
ありがとうございます。

MAK

親のいない場所でもお友達ができたり、楽しい事を
自分で見つけたり、安心して娘らしく過ごせる居場所
ができた事が嬉しかったです。

さっちゃんの母

リノキッズでは、温かく迎えてくれ、
笑顔で帰って来てくれ、いつも安心して
娘をお願いできています。お出かけに友達と
行くという楽しみを味わう事が出来たり、
シール交換などの流行りの遊びをして今どきの
学生らしい遊びをさせていただき嬉しく
思います。

菜央の
母

土曜日に子供を預かってもらえた
ので、上の子の部活の試合を観戦
できたのでありがたかったです。
本人も、家族以外の人との関わり
を持って、普段できない経験ができ、
貴重な時間をいただいております。

みーちゃんママ

お姉ちゃんに目を向ける時間が
できました。親子2人の時間が
あまり取れなかったのですが、
土曜日など一緒にお出かけしたり
食事に行けるようになったのは
本当にありがたいです。学校で
あったことや友達のこと、興味
あることなどお話できる時間が
できました。

Y.K ママ

急なお願いにも出来る
限り対応してくれて嫌な顔
せず大丈夫ですよと言って
くれてすごく助かっています。
これからも娘の成長と一緒に
見守ってほしいです！
皆さんいつもありがとうございます！

初めてソルを見た時から期待をしていましたし、今までも裏切られたという事は一度も
ありません。母のような大きな目があるからだろうないつも感謝しております。

これからも変わらず良い方向に変わっていく
姿を楽しみに応援しています。今後共どうか
宜しくお願い致します。

A.S

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
いつも子供だけではなく親にも寄り
添っていただいて大変助かっており
ます。今後ともよろしくお願いします。

他の看護ステーションで少しの間でいから子供と遊んで欲しいとお願い
すると断られてしまい、預ける事をお願いする事は悪なんだと心の扉が完全
に閉ざしてしまっていました。が、あみえるさんと出会い看護師さんよりハビリ
の先生も親身に子供の成長に協力してくださって心があたまりました。
現在は安心して子供をお願いできてます。

お友達を意識するようになり気の合う
お友達と通所日が一緒だと「今日も1日満足！」
という表情で帰ってきます。その姿をみると
すごくうれしくなります！！

M.N

ご利用者のみなさま、

励みになるお言葉
ありがとうございます！

誌面に載せ切れなかったお言葉やご意見はスタッフと話し合い、
今後活かして行きたいと思っています。



どんな重い障がいがあっても、地域で生きる

— 10周年のその先へ、レスパイトハウス コタンと描く「こども・家族まんなか」のカタチ —



コタンの紹介

石狩市花川南2条3丁目92番地
定員(7床)
医療型ショートステイ



2025年5月

石狩市花川南に「こども未来支援拠点あいのカタチ」が誕生しました。木の香りが漂う、温かみにあふれた建物。その2階に、「レスパイトハウス コタン」があります。医療的ケアを必要とするこどもたちと家族が、住み慣れた地域で自分たちらしい暮らしを続けていくために、一人ひとりに合った過ごし方をつくっていく。ソルウェイズが大切にしてきた「こども・家族まんなか」の考え方を、コタン誕生の原点と、日々の関わりに息づく「3つの機能」からご紹介します。

誕生の原点

また泊まりたいと思える場所を

ソルウェイズが設立した当初から、家族から多く寄せられていたのが、**医療的ケアに対応できるショートステイを望む声でした。**目指したのは、家族が「ごめんね」と後ろめたさを抱えて送り出す場所ではなく、**こども自身が「また泊まりたい」と思える場所。**家族にとっても、**安心して休み、自分やきょうだいの時間を大切にできる居場所です。**

その願いを形にするため、2022年に本格的な準備を始めました。一人ひとりの体調や生活リズム、好きなことを丁寧に知り、**その子と家族に合った過ごし方を一緒に考える。**医療や福祉の枠を越えて皆さんと一歩ずつ、安心と楽しみのあるお泊まりの時間を育てています。

コタンが果たす3つの機能



夜にしかできない遊びにワクワク！



おばあちゃんの家遊びに行く
お友達とお泊まり会をする
ようなワクワクする感覚

1 夜も安心して過ごせるケアと「家族まるごとレスパイト」

人工呼吸器の管理やたんの吸引など、夜間も必要となる医療的ケアに、専門職が丁寧に寄り添います。こどもが安心して過ごす間、ご家族はゆっくり休んだり、きょうだいで過ごしたり。初めてのお泊まりが心配なときは、家族と一緒に宿泊することもできます。それぞれに合った過ごし方を、ともに考えていきます。

2 また泊まりたいを育む「お泊まりのワクワク」

大切にしているのは、本人が「また泊まりたい」と思えること。プレイルームで遊んだり、スタッフやお友達と笑い合ったり、一人ひとりの好きなことやペースに合わせて過ごします。「おばあちゃんの家」や「お泊まり会」のように、次のお泊まりが楽しみになる時間を、みんなで一緒に育てていきます。

3 もしものときにも「地域で支え合える場所」

災害時にも医療的ケア児と家族が安心して過ごせるよう、2025年10月、石狩市と福祉避難所の協定を締結しました。ソーラーパネルや蓄電池、非常用発電機を備え、停電時にも医療機器に必要な電力を確保します。日頃から地域と顔の見える関係を育み、もしものときにも支え合える場所を目指しています。



「やさしいまちづくり部門」を受賞



医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク主催の「第2回スペシャルニーズアワード」で、やさしいまちづくり部門を受賞しました。福祉は特別な誰かのためだけではなく、誰もが安心して暮らせるまちづくりそのもの。今回の受賞を通じて、その想いを改めて深くしました。



こども家庭庁の手引きに掲載

コタンの取り組みが、こども家庭庁発行の手引きで紹介されました。医療的ケアが必要なこどもにとって、普段から通い慣れた場所が避難先になることは、災害時の不安を和らげ、本人や家族が必要なことを伝えやすい環境にもつながります。



もっと身近に、もっとつながる。次の10年へ

レスパイトの形は、こどもによって、家族によって異なります。ひとりで泊まる、家族と一緒に泊まる、まずは遊びに来てみる。どれか一つが正解ではなく、そのときの気持ちや暮らしに合う形を、一緒に見つけていくことが大切だと考えています。誰かを頼ることは、特別でも、申し訳ないことでもありません。もっと身近に、もっと気軽に、頼っていい。こどもが新しい人や場所と出会い、家族がほっと息をつく。

それは、地域で自分たちらしく暮らし続けるための、ごく自然な営みです。ソルウェイズが歩んできた10年の先に、「泊まってみたい」「少し休みたい」と安心して言える地域を。こどもや家族、医療、福祉、そして地域の皆さんと、これまで以上につながりながら、次の10年も、一人ひとりに合ったレスパイトの形をともに育てていきます。

特集 その子らしく生きる

さっぽろ子どもホスピス

～北海道モデル～

全道各地に、地域に根差した拠点の整備の支援

小児がんや難病、重い障がい、医療的ケアが必要な
子どもたちとそご家族が安心して過ごせる地域を目指しています。



2025年

活動開始

ニーズ調査、普及活動
シミュレーション
拠点準備などを開始

2026年

推進協議会発足

事業計画、予算
研究、調査

2027年

「さっぽろ子どもホスピス」拠点
着工

2028年

開所

在宅緩和ケアや地域医療との
連携のさらなる充実
→人材育成
→拠点のブラッシュアップ

2030年

北海道モデルのハブとなり、
全道各地に地域に根差した
拠点が整備される

これまでのあゆみ

皆さまの声から始まった構想が、全国からの学び、地域への発信、寄付と連携を重ね、
子どもと家族を地域全体で支えるプロジェクトへ育っています。

2025.5-9

動き出す

5/5 「あいのカタチ」開所



7/20 さっぽろ子どもホスピス構想を公表

9/13-14 小児在宅医療カンファレンスにて発信

2025.9-11

ひらく

日本子どもホスピス協議会へ入会



10/5 全国重症児者デイスサービス・ネットワーク
東日本ブロック 研修登壇



10/18 北海道社会福祉フォーラム

2026.1-3

輪が広がる

1/2 応援団・賛同人会の発足

1/25 チ・カ・ホ出展/マスコット愛称投票



2/14 応援団・賛同人会説明会

2/28 全国子どもホスピスサミット
in NAGOYA 登壇

3/15 さっぽろ子どもホスピス推進協議会発足



2025.8.30
札幌大通ライオンズクラブ



2025.10.25
国際獅子会 300A3 区



2025.11.20
札幌まるやまライオンズクラブ



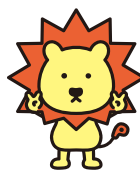
2026.2.24
札幌インフィニティライオンズクラブ



2026.5.19
ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

名前決定！

社内公募した名前3候補の中から、
一般の方々の投票により決定いたしました！



ソル

ソルはラテン語で「太陽」。
太陽は明るく照らし、
元気な気持ちになります。
子どもは太陽のような存在。
明るさは希望です。



レラ

レラはアイヌ語で「風」。
気持ちのよい風から、物を
なぎ倒すくらいの強い風まで
さまざまです。大変なくらい
の強い風のおかげで遠くまで
種が届きます。私たちの想い
も遠くまで届きますように。



ウア

ウアはハワイ語で「雨」。
雨が降るとお外であそべ
ない。でもその代わりに
探すワクワクもあります。
雨は生物にとっては大切。
天の恵みというくらいです。
泣いたっていいんです。

「その子らしく生きる」を、
地域の真ん中に。

子どもと家族が、安心して過ごせる拠点を札幌に。

重い病気や障がいのある子どもと家族が、遊び、出会い、
ほっとひと息つける場所。地域の皆さまとともに、
さっぽろ子どもホスピスの拠点づくりを進めています。

拠点外観全体のイメージ



らいおんの家、家族のだんらん



みんなの森のような屋内の公園



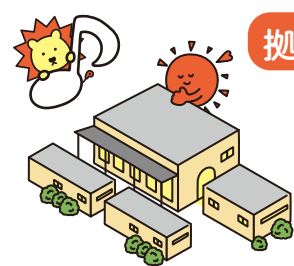
地域とともに、歩みだす。

ライオンズクラブ国際協会331-A地区と協定を発表

2026年7月31日、札幌市役所にて、NPO法人ソルウェイズとライオンズクラブ
国際協会331-A地区が、「さっぽろ子どもホスピス～北海道モデル～」拠点整備
に向けた今後の連携について記者発表を行いました。



2028年、札幌市内に子どもホスピス拠点をづくります！



拠点建設の総事業費

4億円



クラウドファンディング目標額

1st GOAL 500万円 2nd GOAL 1,000万円

一人ひとりの応援が、
大きな力になります！ 1,000人×1万円

ご寄付・応援のご案内



銀行名 北洋銀行 花川北支店
口座種別 普通
口座番号 7226258
口座名義 特定非営利活動法人ソルウェイズ
トクヒソルウェイズ
ウングヨウヨシエ



Syncable

クラウドファンディング
2026年11月START!!

めざすのは、
1,000人の応援！



特設ページ

2025 自分らしく 「地域で役割や楽しみを持って暮らす」へ活動が広がっていった1年

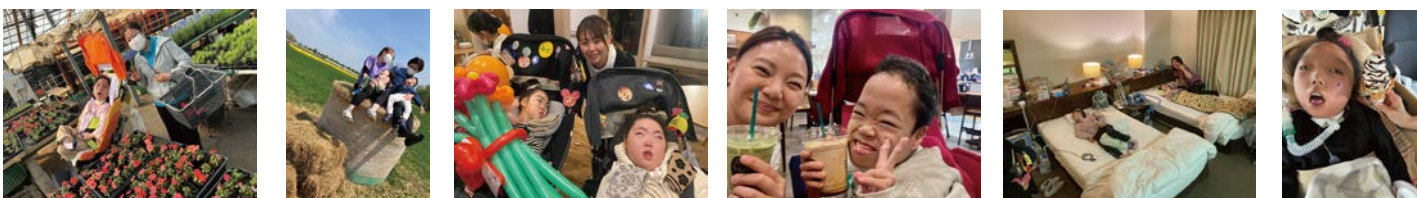
4月 居宅介護・移動支援も活用いた社会参加

高校卒業後も地域とのつながりを大切に。居宅介護・移動支援を活用し、ムンズドーナツ苗穂基地での販売活動に参加しました。「やってみたい」「がんばってみる」という一人ひとりの気持ちが、社会とつながる第一歩に。学校を卒業しても、地域で役割や楽しみを持ちながら、自分らしく暮らすための新しい挑戦が始まっています。



10月 卒業した支援学校の学校祭、実演&販売

卒業した北翔支援学校の学校祭に参加し、ラベル貼りの実演や商品の販売に挑戦しました。懐かしい先生や後輩たちとの再会に、いつも以上のやる気と笑顔があふれます。「いいところを見せたい!」という気持ちが伝わる姿に、ご家族も大喜び。卒業後の成長を見てもらうことができた、うれしい一日となりました。



家族と一緒に 家族が安心して暮らせる環境づくり

こども未来支援拠点 あいのカタチ開所式

5月5日のこどもの日、「あいのカタチ」が新たな一歩を踏み出しました。開所式を含む4日間の内覧会には、約650名もの皆さんが足を運び、たくさんの笑顔と温かな応援に包まれました。こどもも家族も、安心して過ごせる場所をもっと身近に。地域の皆さんと一緒に、こどもたちの「生きる」を応援し、家族まるごとつながれる場所を育んでいきます。



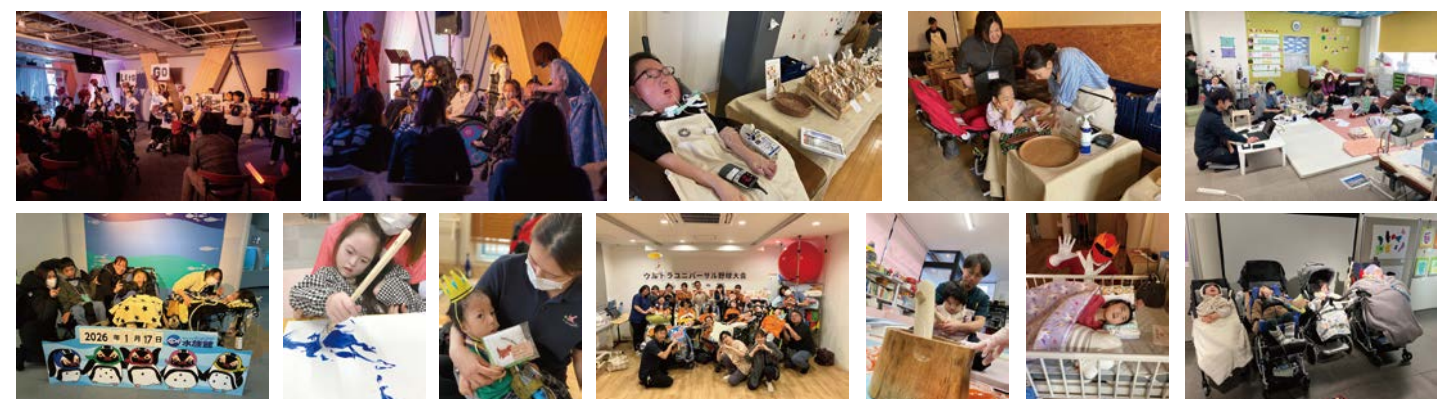
11月 ワクワクつながるこどもフェスタ 音楽パフォーマーとしての社会参加

心魂プロジェクトのステージに、音楽パフォーマーとして参加しました。動画を見ながら練習を重ね、迎えた本番。仲間と一緒に音楽を楽しみ、自分らしく表現する姿がありました。舞台上立つことは、誰かに楽しさや感動を届けること。障がいの有無にかかわらず、一人ひとりが表現する喜びを感じられる、貴重な機会となりました。



12月 地域の団体との協働支援

蝦夷villageの皆さんによるコンサートを開催。キーボードやトランペットの心地よい音色に包まれ、こどもたちも楽器を手に音楽を楽しみました。音に敏感なこどもたちにも配慮された、やさしい演奏。笑顔になったり、驚いたり、夢中になったり。一人ひとりの豊かな表情が広がり、音楽の楽しさをみんなで分かち合う時間となりました。



2026



地域とつながる 「支える人」を増やし、地域ぐるみの仕組みへ

ワクワクつながるこどもフェスタ

「ワクワクつながるこどもフェスタ」を初開催!心魂プロジェクトによる3公演には、たくさんのこどもや家族、地域の皆さんが集まりました。音楽を通じて「ひとりじゃない」というメッセージを分かち合い、会場は笑顔と温かな拍手に包まれました。さまざまな団体もつながり、地域に新しい出会いと可能性が広がる一日となりました。



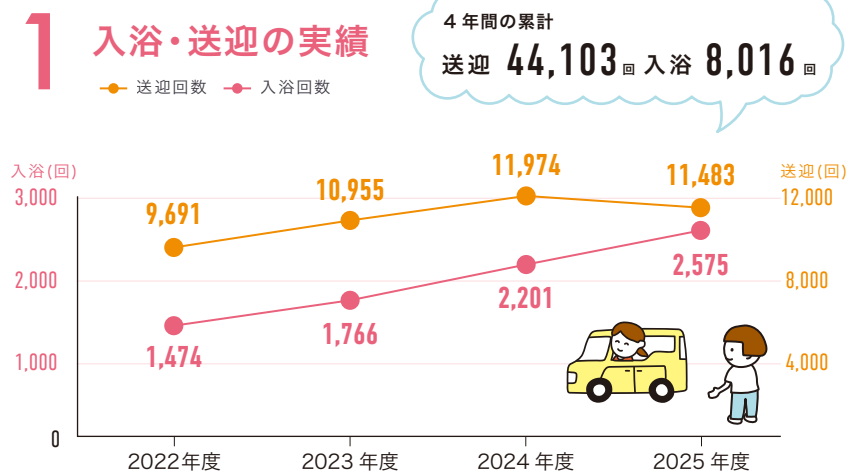
- 病児保育室「らいおん」が開園、家族の仕事と子育てを応援
- 「さっぽろこどもホスピス〜北海道モデル〜」が本格始動
- 約200名が参加!「ソルウェイズまつり 2025」を開催

- 法人内に「人材育成センター」を開設、学びの基盤づくりを推進
- さっぽろこどもホスピス「応援団」「企業・団体賛同人会」が発足
- 厚生労働省「生活介護利用モデル作成事業」に採択

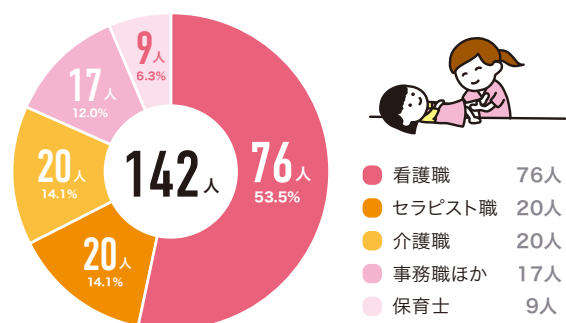
- 「スペシャルニーズアワード」やさしいまちづくり部門を受賞
- 重代ネット・東日本ブロック会議をあいのカタチで開催
- 「医療的ケア支援者講座 in 北海道」を共催
- 北海道社会福祉フォーラムや学会などで実践を発信

- 「あいのカタチ」が石狩市の協定福祉避難所に
- 感謝をカタチにした「ドネーションツリー」が完成
- 地域の企業・団体と協働し、こどもたちの体験機会を創出

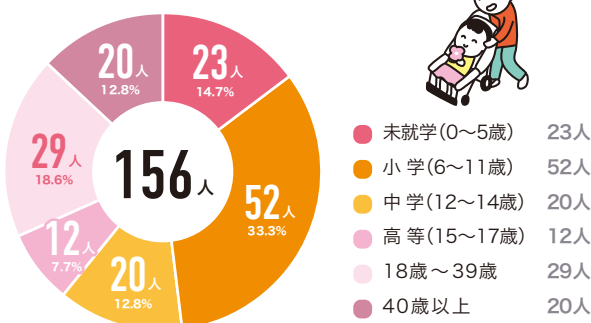
数字で見る ソルウェイズ 2025



2 支える力は、ひとつじゃない。 ソルウェイズで働く職種分布



3 いくつになっても、自分らしく。 ソルウェイズとつながる年齢分布

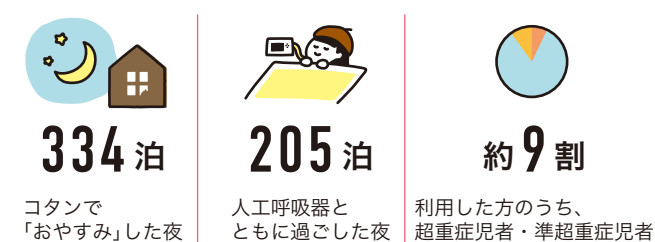


4 暮らしに必要な、ひとつひとつをつないで。 医療的ケアと事業のつながり

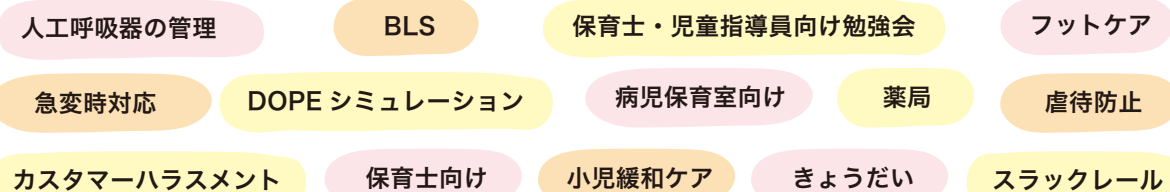


人工呼吸器を使用している63人のうち
約7割が、2つ以上の事業につながっています。
半数以上が、3つ以上の事業につながっています。

5 「おやすみ」が、あたりまえにある毎日へ。 レスパイトハウスコタンで過ごした夜



6 学ぶことも、働くことのひとつ。 職種をこえて広がる、ソルウェイズの学び



2025年度 決算報告

2025年度は、こども未来支援拠点「あいのカタチ」の開所に伴い、小児科クリニック、病児保育、医療型ショートステイなど、複数の新規事業が始動しました。これにより法人全体の事業規模が大きく広がり、事業収益や人件費をはじめ、収益・経費の構造も大きく変化した一年となりました。新たに加わった事業は、いずれも単独で完結するものではなく、医療・福祉・子育て支援をつなぎ、こどもと家族の地域での暮らしを支えるものです。寄付や助成、補助を通じて寄せられた皆さまの想いを大切にしながら、これからも財務の透明性を高め、すべての事業を「どんな重い障がいがあっても、地域で生きることができる社会」の実現につなげていきます。

2025年度 貸借対照表

2026年3月31日現在 / 単位: 円

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	154,113,475
(うち、こどもホスピス事業用資産)	A (8,115,327)
2. 固定資産	468,717,971
資産合計	622,831,446
II 負債の部	
1. 流動負債	47,632,890
2. 固定負債	174,331,610
負債合計	221,964,500
III 正味財産の部	
正味財産合計	400,866,946
負債及び正味財産合計	622,831,446

※ 事業収益は、2024年度の「事業収益1・2」、2025年度の「自主事業収益1・2」「事業収益1」「利用料収入1・2」をそれぞれ合算しています。

※ その他収益は、2024年度の「雑収益等」、2025年度の「受取利息・雑収益」を表示しています。

2025年度 活動計算書

2025年4月1日~2026年3月31日 / 単位: 円

科目	前年度決算(B)	当年度決算(A)
経常収益		
受取会費	130,000	120,000
受取寄付金	9,197,675	B 11,603,555
受取助成金	21,523,000	C 352,961,795
(うち、日本財団による拠点整備助成金)	—	(327,050,000)
受取補助金	4,815,232	D 23,332,181
事業収益	433,907,993	549,603,775
その他収益	5,992,246	4,026,328
経常収益計	475,566,146	941,647,634
経常費用		
事業費計	427,639,588	E 601,190,738
管理費計	9,938,916	36,105,893
経常費用計	437,578,504	637,296,631
当期経常増減額	37,987,642	304,351,003
経常外収益計	0	0
経常外費用計	248,070	0
法人税、住民税及び事業税	909,600	226,700
当期正味財産増減額	36,829,972	304,124,303

A こどもホスピス事業用資産

2028年春、札幌市内での開所を目指す「さっぽろこどもホスピス」の建設に向け、2025年度より建設資金を確保するための専用資産を新たに計上しました。日々の事業運営に必要な資金とは区分し、拠点整備に充てる資金として大切に管理していくものです。これまで思い描いてきた構想が、いよいよ具体的な計画として動き始めています。皆さまから寄せられるご寄付やご支援を、こどもたちと家族が安心して過ごせる場所づくりへとつなげながら、実現に向けて一歩ずつ着実に準備を進めていきます。

B 受取寄付金

個人・企業・団体から、継続寄付に加え、さっぽろこどもホスピスの建設などへご支援をいただきました。

C 受取助成金

2025年度の受取助成金のうち、約3億2,705万円は、日本財団による「医療的ケアに対応した難病の子どもと家族を支える拠点の整備」事業への助成金です。この大きなご支援により、「こども未来支援拠点 あいのカタチ」の整備が実現しました。また、洲崎福祉財団による3年間の継続助成は2年目を迎え、人材育成や支援体制の充実にも取り組みました。助成団体の皆さまからのご支援が、新たな事業の立ち上げや、地域での暮らしを支える基盤づくりにつながっています。

D 受取補助金

医療的ケアを必要とする方々の受け入れ体制の充実をはじめ、卒業後の暮らしを見据えた生活支援モデルの構築、職員の確保・育成、ICTを活用した業務環境の整備など、さまざまな取り組みに補助金を活用しました。支援の質を高めるとともに、職員が安心して働き続けられる環境づくりや、法人全体の運営基盤の強化にもつなげています。

E 事業費計

2025年度は、新規事業の開始や既存事業の充実に伴い、事業費が増加しました。職員数は前年度比で約23%増加し、療育・看護・リハビリなど、多職種による支援体制も一層の充実に取り組んでいます。また、新規事業の立ち上げに伴う設備や備品の整備など、初期費用も発生しています。事業の拡大とともに経費も増加していますが、これらは年齢や障がいの程度にかかわらず、一人ひとりの暮らしを地域で支え続けるために必要な費用です。今後も、質の向上と持続可能な法人運営の両立を大切にしていきます。

2026年度 事業計画

2026年度スローガン

変革を楽しみ、 圧倒的な信頼を築く

2026年度から、ソルウェイズは、その年の歩みを方向づける「年度スローガン」を掲げます。私たちが目指すのは、どんな重い障がいがあっても、生まれ育った地域で自分らしく生きられる社会です。その実現には、一つひとつの実践を積み重ね、変化を恐れず、よりよい支援のあり方を探り続けることが欠かせません。

設立10周年を目前に、職員数は140名を超え、組織として担う役割と責任も大きくなりました。だからこそ、変革を前向きに楽しみ、日々の誠実な仕事を通じて、こどもたちやご家族、地域の皆さまから揺るぎない信頼を築いていきます。

迷ったときに立ち返る共通の指針として、法人名に込めた「太陽・希望 (Sol) へ続く道 (Ways)」を、これからも一歩ずつ切り拓いていきます。

新規事業「YARITAI-BASE Project」の始動



前年度に取り組んだ「学校卒業後の生活を見据えた準備」を進展させ、2026年度「YARITAI-BASE Project」を新たな事業として本格始動します。どんな重い障がいがあっても、一人ひとりの表情や視線、身体の動き、小さな反応の中にある意思を大切に、その人らしい「やってみたい」を見つけ、育み、カタチにしていけるプロジェクトです。活動の柱は、「好き」が広がる3つのBASE。「ASOBI BASE」では、夢中になれる遊びを通じて好奇心やコミュニケーションを育みます。

「MANABI BASE」では、一人ひとりに合った方法で、生涯にわたる学びを支えます。「WORK BASE」では、「好き」や「得意」を社会とのつながりや、その人らしい役割へと広げます。

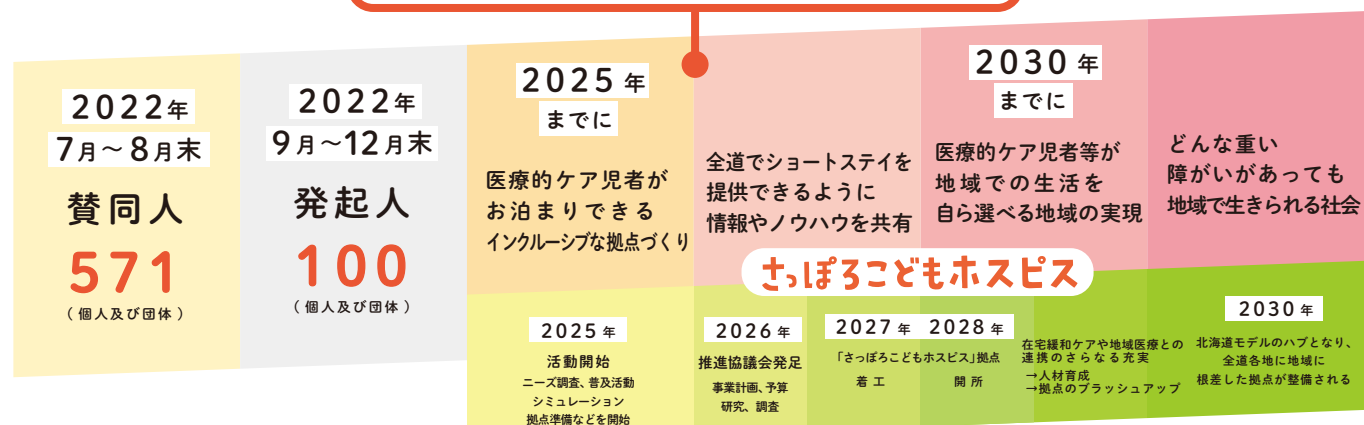
企業・学校・大学・地域団体・クリエイターなど、多様な人々と連携しながら、小さな「やってみたい」から新たな挑戦と未来が生まれる地域をつくりまします。

「さっぽろこどもホスピス」の実現に向けて

2028年春の新拠点開所を目指し、「さっぽろこどもホスピス」の歩みをさらに進めていきます。重い病気や障がいのあるこどもたちと家族が、安心して遊び、学び、休みながら、その子らしい時間を過ごせる場所を、北海道につくることを目指しています。そこに込めた想いを広く届け、応援してくださる仲間を増やしていきます。

また、こどもたちと家族を支える人材の育成や、開所後を見据えた採用にも力を入れます。医療や福祉、教育、地域の皆さんとつながりながら、こどもと家族が「ここに来てよかった」と思える場所を、一緒につくっていきます。

2030年に向けた中期計画(2027年)を策定



ご確認
ください!



寄付申し出フォーム

領収書等のご案内のため、
ご寄付の前後にご入力を
お願いします。



寄付する

あなたの寄付が、どんな重い障がいがあっても地域で自分らしく生きられる社会をつくる力になります。本人と家族を支えるソルウェイズの活動全般を、応援してください。

銀行振込

銀行名 北洋銀行 花川北支店
口座種別 普通
口座番号 7226258
口座名義 特定非営利活動法人ソルウェイズ
トクヒソルウェイズ
ウングジョウ ヨシエ

寄付はこちらから



働く・関わる

一緒に、あたたかな場をつくりませんか。

あなたの経験が、本人と家族に寄り添う力になります。一人ひとりの「その人らしい暮らし」を支えるソルウェイズの仲間として、一緒に働き、関わってみませんか。

- 医療・福祉・心理・保育などの専門職
- イベント・事務・広報などのサポート
- 学生・地域ボランティア
- 企業・団体でのプロボノ参加 など

応募はこちらから



応援いただいた

個人の方

浅沼 秀臣	岩波 剛	尾田 裕彦	佐々木 智教	須藤 育恵	野上 勝司	水上 八行
阿部 孝宏	上田 康弘	嘉藤 裕子	佐々木 陽子	空橋 智裕	平元 東	宮達 一嘉
荒井 聡	上木 早恵	金子 美希	佐藤 はるみ	田代 恵野	平野 ますみ	村山 文彦
家守 寛	内多 勝康	清藤 敬司	佐藤 一浩	武田 優美子	前田 浩利	柳井 康祐
伊勢 健佑	鵜川 敬	工藤 立史	佐藤 誠	千田 卓央	前原 一平	山口 勝子
伊藤 美由紀	遠藤 謙一良	久保 まき	柴田 睦郎	坪井 英心	松岡 智子	
井上 茂男	太田 由美子	小林 利佳	塩原 直美	出口 明美	松波 由哲	
岩波 公子	大場 信一	齋 秀仁	鈴木 雄介	蛭川 晴奈	松野 郁英	

※ 五十音順・敬称略／公表に同意をいただいた方のみ掲載します。

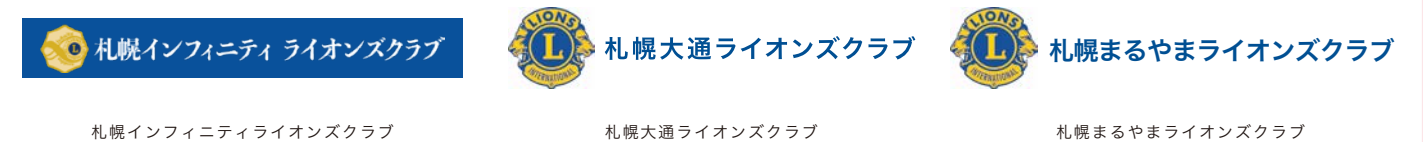


応援いただいた

法人・団体



NPO法人あえりあ／あなまち/こっちゃん／alaise_handmade／石狩設備工業有限会社／株式会社一丸越後屋商店
 親なきあと相談室ファミリア／NPO法人くるりんlabo／ケアマミ雑貨の店 すりいる／国際ソロブチミスト石狩／NPO法人こども未来
 ジリリタ株式会社／NPO法人すこやかライフ／有限会社すずらん／スナック都る美／合同会社スノーベル
 ネマリンミオパチーの会／のみくいどころ 花の実／一般社団法人ハートキッズライフリンク／花川中央商店街振興組合
 特定非営利活動法人 for R／株式会社ブルーブロッサム／ベスト・ケア・サポート／訪問フットケアステーション FreshFoot
 有限会社マネジメントコンサルタント 就労支援 B 型 ANGEL／合同会社 MeetSmileCompany／村上労働行政事務所
 山鼻てらす／医療法人社団優希 八軒内科ファミリークリニック／株式会社ライズリング



ウィングス医療的ケア児などのがんばる子どもと家族を支える会／認定NPO法人うりずん／株式会社エースランドリー
 有限会社 COM 泉屋／株式会社札幌北オートサービス／株式会社志桜 多機能型重症児者デイスサービス笑夢
 スマイルのわ／一般社団法人チャーミングケア／ちょこっと企画／NPO法人テレサの丘／日本財団「ベルズ基金」
 はまなす医院／パリエンテ株式会社／株式会社 Palette／合同会社パレットイブ／有限会社POライフ／平岸ハイヤー株式会社
 社会福祉法人北翔会／北海道重症心身障害児を守る会／北海道小児膠原病の会／NPOボラギャング
 MUN'S DOUGHNUT／合同会社めぐる／株式会社メディカルシステムネットワーク／メナードフェイシャルサロン 手稲前田
 La table verte／Lovin' Life